

# 再考 福祉避難所

—東日本・熊本・能登半島地震から考える—

令和6年1月に発生した『令和6年能登半島地震』において、マスコミから「自閉症の息子、避難所連れて行けず」、「福祉避難所開設、計画通りに進まず」などと報道されています。私は「またか！」との思いを強くしています。東日本大震災、熊本地震においても、福祉避難所は十分に機能したとは言えませんでした。私自身、知人の車で能登半島の被災地に入り、自分の目と耳で現地の状況を把握することに努めましたので、そのことも交えて講演をします。今回の講演では、市民の方や学生の方など皆さんと一緒に「福祉避難所を機能させるためにはどうしたらよいか」を、一緒に再考したいと願っております。

参加費無料!

2024.3.17 (sun)

15:00~16:30

開催方法: オンライン(Webアプリ・Zoomで実施)

申込期間: 2月16日(金)~3月15日(金)

対象: どなたでも参加可能です(中高生の参加も大歓迎です)。

申込方法: 右記二次元コードまたは星槎大学HPからお申込みください。



講師プロフィール

千田 光久

星槎大学共生科学部・星槎大学大学院教育学研究科教授

大学では「共生」を基盤にして特別支援教育論などの講義や大学院生に災害時における福祉避難所の在り方などの指導。福祉避難所に強く関心をもったきっかけは、東日本大震災において避難所に入れない発達障害があるお子さんとお母さんとの出会いからです。障がいのある方や高齢者の方、乳幼児を育てている方などが、安心して避難できる福祉避難所の充実を大学での講義や学外での講演などで訴え、今日に至る。

二次元コード



お問合せ先: 星槎大学横浜事務局  
〒227-8522 神奈川県横浜市青葉区さつきが丘8-80  
E-mail: seiskyusyu@seisa.ac.jp (担当窓口)

SEISA 星槎大学



Live! 生中継



スマホで参加OK



双方向



途中参加 / 退室OK



全国の仲間と繋がる